

医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業
(戦略的国際共同研究プログラム SICORP)
e-ASIA 共同研究プログラム ヘルスリサーチ領域 事後評価
課題評価委員会における主な指摘事項

研究開発課題名	ヘリコバクター・ピロリの病原性と抗菌薬耐性のゲノム情報解析基盤形成
研究開発代表者	山岡 吉生
代表機関	大分大学

○評価委員会コメント

成果・評価される点：

- 計画を大幅に上回る数のピロリ菌臨床分離株の全ゲノム解析を完遂し、新規の変異遺伝子の同定により多剤耐性機構を解明し、国際データベース構築にも貢献した。
- 現代人に感染するピロリ菌の二大進化系統を世界で初めてNature誌等に報告し、国際的・学術的に高い成果を挙げた。
- タイで新規除菌療法の無作為ランダム化比較試験が導入され、インドネシアで診療ガイドラインが策定されるなど、アジア地域での臨床研究基盤の形成および社会実装が認められた。
- 日本を含む3か国から多数の学生・若手研究者が参画し、ダブル・ディグリー制度、若手長期受入研修、国費留学等を通じた次世代研究者の育成が推進された。
- 日本・タイ・インドネシアに加え米国NIHや欧州グループとも協働する国際ネットワークを構築しながら、3か国の研究機関での効果的な連携体制と自立的研究体制を構築した。

課題・改善点：

- 研究開発分担者間の連携体制や役割分担が必ずしも明瞭ではなかったため、今後本研究をさらに継続する際にはそれらをより明瞭にすべきである。